

**● 浜 の 話 題**

- 6月17日、県水産課は、横浜で「かながわで漁師になろうセミナー」を開催しました。当日は、漁業や漁業就業に興味を抱く55名の参加があり、神奈川の漁業や漁師になる方法についての説明のほか、3名の漁業者講師から、漁師になったきっかけや、やり甲斐、漁業で大変なことなど、実体験に基づいた説明がありました。セミナー終了後には、漁業者講師との座談会があり、漁船や漁具の入手方法や漁師になるための心構えについて、参加者から率直な質問がありました。



セミナーの様子

- 6月19日、小田原市漁協青年部会の活動として、小田原沖に簡易竹魚礁の設置を行いました。この魚礁はカワハギ・アジなどの鯖集を回るとともに、アオリイカの産卵床の形成を目的として設置しています。今後鯖集した魚を漁獲し、活魚出荷なども実施する予定です。



竹魚礁製作の様子



竹魚礁の設置

- 6月19日、23日及び26日、葉山町漁協は藻場の回復を目的としたウニ類の除去活動を実施し、水産技術センターは23日に活動を支援しました。ウニ類は海藻の新芽を食べつくしてしまうため、次世代の海藻が育たなくなり、藻場の回復が妨げられます。ウニ類の除去による藻場の回復が期待されます。
- 6月20日、城ヶ島藻場保全活動組織では、藻場保全活動として刺網によるアイゴ除去活動を開始しました。この日は約120kgのアイゴを漁獲しました。今年度は残り6回、合計7回のアイゴ除去活動を実施する予定であり、漁業者はなるべく多く除去したいと意気込んでいま

す。

- 6月20日、神奈川県漁業士会は、平成29年度第二回役員会を横浜市西区のかながわ県民センターで開催しました。平成29年度関東・東海ブロック漁業士研修会（今年度は神奈川県が当番県）の内容等について、活発に議論が行われました。
- 6月20日、茅ヶ崎市漁協は茅ヶ崎市漁港で「さかなの市」を開催しました。当日は、朝どれのアジ、サバ、ヒラメ、マゴチ等の地魚や湘南しらす製品等を直売しました。また、地元のパン屋さんが湘南しらすをパン生地に練り込んだ「しらすパン」を販売し、人気だったそうです。



しらすパン

- 6月20日、水産技術センター相模湾試験場は大磯二宮漁協所属の二宮漁場の定置網に従事する若手魚漁業者と、ブランド化に向けた金アジの撮影を行いました。金アジのPR用の撮影のほか、金アジと黒アジの形態的相違や、金アジの脂がのった切り身の色合い等がわかる画像を撮影しました。今回撮影した画像に、金アジと黒アジの体長別の太り具合等の科学的データを添えたPRパンフレットを作成し、金アジのブランド化を図ります。



金アジ（手前2尾）と黒アジ（奥側2尾）



脂がのって魚肉が肌色の金アジ

- 6月26日、江の島片瀬漁協では、藤沢市の魚介類放流事業の委託を受けて同漁協所属の新将丸さんが出船し、ヒラメ種苗1万6千尾、トラフグ種苗2千5百尾を、適地に放流しました。
- 6月27日、平成29年度の定置漁業研究会総会が開催されました。今年度は役員改選が行われ、会長は引き続き大磯二宮漁協の加藤孝組合長、副会長は福浦漁協の高橋富士一組合長が務めることとなりました。また、理事は小田原市漁協の高橋征人理事が退任し、同漁協の石垣誠氏が新たに選任されました。総会では昨年度の事業報告と今年度の事業計画案が示され、サ

バの資源と漁況予測及び主要回遊魚種の資源動向について話題提供がありました。

- 6月27日、長井町漁協の潜水部会は、水産技術センターの協力のもと、藻場の回復を目的としたウニ類の除去活動を実施しました。秋季には藻場を回復させるための藻類の増殖活動を行う予定です。
- 6月28日、県水産技術センター、(株)京急油壺マリパーク、県立海洋科学高校が連携して試験しているキャベツウニの試食会が京急油壺マリパークで開催され、漁業関係者、報道関係者など約100名が参加しました。水産技術センター企画資源部臼井主任研究員から養殖試験の紹介があり、その後、キャベツを餌に養殖されたムラサキウニを試食しました。参加者からは、甘味があって美味しいという感想が多く聞かれました。



臼井主任研究員の説明



養殖されたムラサキウニ

- 6月29日、横浜市漁協金沢支所で栽培漁業と資源管理への理解を深めてもらうため、「金沢放流祭り」として種苗放流が行われました。金沢小学校と関東学院六浦小学校の5年生約140人が参加し、遊漁船の忠彦丸さん、進丸さん、蒲谷丸さんに分乗して、八景島近くで全長8センチ前後のヒラメ5千尾、メバル4千尾を放流しました。生徒さんたちは種苗放流と乗船を新鮮な体験として楽しんでいるようでした。また、金沢支所の久保寺支所長、同支所の木川さん、(公財)神奈川県栽培漁業協会の今井専務理事の説明を熱心に聞いていました。
- 6月30日、横須賀市大楠漁協は水産技術センターの協力のもと、秋谷地区においてウニ類の除去活動を実施しました。ウニ類の除去による藻場の回復が望めます。
- 6月下旬、腰越と平塚のしらす協議会会員にテレビ局の取材がありました。7月22日22:54から日本テレビ「和び旅」で、腰越の勘浜丸さんの湘南しらす製品の加工・直売の様子としらす漁の歴史について、7月25日20:00からBS TBS「日本の旬に行く!路線バスの旅」で、平塚の佳栄丸さんのしらす漁と湘南しらす製品の加工・直売の様子について、放映予定とのことです。